

令和8年度 一般選抜 「数学」：（数学Ⅰ、数学A） 出題の意図

第1問（数と式）

式の因数分解や解の対称式、連立不等式および絶対値を含む方程式を扱い、条件に応じて式を正確に変形・処理する基礎的な計算力を問う問題である。

第2問（図形と計量）

余弦定理や正弦定理を活用し、辺の長さ・角の大きさ・外接円の半径を求める設問で、図形の条件を的確に式へ置き換える力を評価する問題である。

第3問（二次関数）

平方完成による頂点の算出やグラフとx軸との共有点の条件を扱い、定義域における最小値を定数の値で場合分けして考察する力を問う問題である。

第4問（データの分析）

度数分布表において代表値の条件から未知の度数を決定し、四分位範囲や分散を求める設問で、代表値の意味の理解と計算処理能力を評価する問題である。

第5問（場合の数と確率）

格子状の道路における最短経路の総数を、組合せの考え方と積の法則を用いて数え上げ、条件に応じて場合を整理する力を評価する問題である。

第6問（図形の性質）

三角形の内心と角の二等分線の性質を用いて三辺の比や線分の比を求める設問で、平面図形の基本定理を組み合わせて考察する力を評価する問題である。